※令和３年度以前入学生用

学校番号	４１６

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（教育図書）						
副教材等	くせ字がなおるペン字練習帳　（新星出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ・Ⅱで習得した技法を基礎にして、鑑賞作品を制作しましょう。
・書道Ⅰ・Ⅱで培った集中力をさらに高め、自己表現に努めましょう。
・自主性を育て、自分で考えて行動できるようにしましょう。
・学習を通して、人間性を高めましょう。

２　学習の到達目標

・書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情をさらに高める。
・感性を高め、表現と鑑賞の能力を高める。
・芸術鑑賞を通して、美意識を高め、審美眼を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現をくふうしている。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ノート プリント 提出作品	観察 ノート プリント 提出作品	観察 ノート プリント 提出作品	観察 鑑賞レポート ノート プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	漢字の書	臨書作品の大作制作	○	○	○		a:自主的な制作意図を有している。 b:作品の形式を生かした構成ができている。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、完成度を高めている。	観察 ノート プリント 提出作品
	鑑賞	臨書作品の鑑賞				○	a:自主的な制作意図を有している。 b:作品の形式を生かした構成ができている。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、完成度を高めている。	観察 ノート プリント 提出作品 鑑賞レポート
二学期	漢字の書	創作作品の大作制作	○	○	○		a:自主的な制作意図を有している。 b:作品の形式を生かした構成ができている。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、完成度を高めている。	観察 ノート プリント 提出作品
	鑑賞	創作作品の鑑賞				○	a:自主的な制作意図を有している。 b:作品の形式を生かした構成ができている。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、書の良さや美しさを味わっている。	観察 ノート プリント 提出作品 鑑賞レポート
	漢字仮名交じりの書	創作作品の大作制作	○	○	○		a:自主的な制作意図を有している。 b:作品の形式を生かした構成ができている。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、完成度を高めている。	観察 ノート プリント 提出作品

※令和３年度以前入学生用

	鑑賞	創作作品の鑑賞				○	a:自主的な制作意図を有している。 b:作品の形式を生かした構成ができている。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、書の良さや美しさを味わっている。	観察 ノート プリント 提出作品 鑑賞レポート
三学期	仮名の書	仮名の臨書作品制作	○	○	○		a:仮名の古筆を鑑賞し、臨書対象を決めている。 b:古筆の特徴を理解している。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し完成度を高めている。	観察 ノート プリント 提出作品
	鑑賞	臨書作品の鑑賞				○	a:自主的な制作意図を有している。 b:作品の形式を生かした構成ができている。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、書の良さや美しさを味わっている。	観察 ノート プリント 提出作品 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。